

（第1回）現庁舎地利活用について考える 市民ワークショップレポート

（第1回）現庁舎地利活用について考える市民ワークショップを開催しました！

本ワークショップは市民の皆さまの視点から、本庁舎整備に伴う現庁舎地の利活用などについて話し合い、様々なご意見を伺うことを目的として開催しました。

第1回のワークショップでは「浦和駅周辺のまちの魅力」について、6グループに分かれてディスカッションを実施しました。ご参加いただいた市民の皆さまに心よりお礼申し上げます。

開催スケジュール

第1回（8月21・22日）
（オンライン（Zoom））
○オリエンテーション
○グループディスカッション
○まとめ



第2回（8月28・29日）
（オンライン（Zoom））
○オリエンテーション
○第1回の振り返り
○グループディスカッション
○全体のまとめ

参加者・運営体制

ファシリテーターの進行の下、市民参加者36名が6グループに分かれて、ディスカッションを行いました。ワークショップ当日は埼玉県に緊急事態宣言が発令されていたことから、オンライン（Zoom）にて実施しました。

市民：36名（無作為に選ばれた市民や市民の声モニターの方の中から参加希望者を募り、参加希望者の中から抽選で決定、欠席3名）

事務局：9名（ファシリテーター3名、さいたま市担当課6名）

オリエンテーション

ディスカッションに先立ち、事務局から以下の4点を説明しました。

①ワークショップの目的

今回のワークショップの目的は浦和駅周辺のまちづくりや市役所移転後の現庁舎地の利活用について、市民の皆さまから様々なご意見をいただき、今後の検討の参考とすることです。

②本庁舎整備等の検討経緯について

平成12年の合併協定書調印から令和3年の「本庁舎整備等に係る基本的な考え方」の公表に至るまでの経緯を説明しました。

また、本庁舎の移転には条例改正の議決が必要な旨を説明しました。

③「（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン」について

さいたま市で検討を行っている「（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョンの策定」に関して、策定の背景と目的を説明しました。

④浦和駅周辺のまちについて

浦和のまちの歴史について説明し、浦和は「県都としての誇りがある地域」であり、「文教都市を象徴する地域」であることを説明しました。

また、浦和駅周辺の施設立地状況についても説明しました。



グループディスカッション

ファシリテーター、参加者の順に自己紹介をしてから「浦和のまちにある地域資源」について、参加者から意見を集めました。事前に参加者が考えてきたアイデアを挙げてもらった他、浦和にはあって他地域にはないものを考えるなど、浦和のまちの特徴などについて意見を出し合いました。

次に参加者が挙げた「浦和のまちにある地域資源」を基に、市民が感じている浦和の魅力を話し合い、整理しました。意外と知らない浦和の魅力など、市民が感じている率直な意見をまとめました。

最後に、「浦和のまちにある地域資源」をさらに伸ばしていくために、何があるか、どのようなことができるか、どのようかなどを話し合いました。
(詳細は次頁以降参照)

浦和のまちの地域資源

例：うなぎ、浦和レッズ、美術館、別所沼公園、調神社

浦和のまちの魅力

例：食文化、スポーツ、文教都市、公園、歴史

魅力を伸ばしていくには

例：町全体でアピールしていく、文化・歴史を若い人に伝える

第1回まとめ

最後に第1回の市民ワークショップのまとめとして、ディスカッションを総括しました。

本ワークショップは新型コロナウイルス感染症の流行により、オンラインでの開催ではありましたが、多くの市民の皆さまにご参加いただき、活発な意見交換ができました。

ディスカッションで挙げた主な意見

浦和駅周辺の地域資源	魅力	魅力を伸ばしていくために
<ul style="list-style-type: none"> うなぎ 和菓子 スイーツ レトロ・個性的な飲食店 	食文化	<ul style="list-style-type: none"> 町おこしなどもっとPRを
<ul style="list-style-type: none"> 浦和レッズ サッカー 	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 駅近や室内でスポーツができる施設を ランニング環境を整える
<ul style="list-style-type: none"> 公立学校の質が高い 学校が多い 教育に熱心が親が多い 県立近代美術館 	文教都市	<ul style="list-style-type: none"> 町全体で文教都市のアピールを 浦和ブランドのイメージを生かす
<ul style="list-style-type: none"> 治安がよい 繁華街がない 	安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故を減らす
<ul style="list-style-type: none"> パルコ 伊勢丹 カフェ 	駅周辺の商業施設	<ul style="list-style-type: none"> 回遊性をもたせる
<ul style="list-style-type: none"> 別所沼公園 北浦和公園 公園が多い 	公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> 子供が遊べる場所を
<ul style="list-style-type: none"> 風水害が少ない 強い地盤 	災害に強い	<ul style="list-style-type: none"> 防災施設をわかりやすく
<ul style="list-style-type: none"> 保育園が多い 子育てに手厚い 	子育てしやすい	<ul style="list-style-type: none"> 大声でも遊べる場所を
<ul style="list-style-type: none"> 行政機関の集積 駅周辺が便利 	住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> 行政ゾーンや公園を周回するバスを
<ul style="list-style-type: none"> 調神社 玉蔵院 中山道 昔ながらのまちなみ 	歴史を感じる	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代に浦和の歴史を伝える 宿場町の雰囲気を生かした取組

ディスカッションで挙げた各グループの意見（一部抜粋）

グループA

浦和駅周辺の地域資源	魅力	魅力を伸ばしていくために
<ul style="list-style-type: none"> 都会イメージ パルコ、伊勢丹 スーパーも近い 商店街 近代美術館（市民が触れやすい芸術） 	<p>買い物 利便性 商業施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 疲れた時など、少し休める場所 雨の日に東口混雑するため屋根を広くしては
<ul style="list-style-type: none"> 質の高い公立小中高 子育てしやすい 	<p>教育 子育て</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺に行かなくても、住宅地で大人が通える場所 保育園で利用できる、大声でも遊べる場所
<ul style="list-style-type: none"> 公園たくさんある 散歩コース豊富 公園が多い（別所沼、北浦和、駒場） 	<p>公園・緑地 散策</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 歩いてどこにでも行ける健康にもよい 女性が一人でも安心した雰囲気です歩ける 	<p>安全・安心 障害者にとっても安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の減少 防災施設をわかりやすく 避難場所の確保、身近にわかるような情報の提供
<ul style="list-style-type: none"> 調神社 昔からの伝統も守られている（祭りなど） 	<p>歴史 文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 古き良き、一方新しいが魅力だが、若い人から高齢者まで全市民が集まれるイベント・文化施設など、浦和ならではのものが不足している
<ul style="list-style-type: none"> 浦和レッズなどスポーツ まちをあげて応援している雰囲気はある 子供たちが気軽に参加できるスポーツクラブなどが充実 	<p>スポーツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ランニング環境 道路でも安全に サイクリングロード

グループB

浦和駅周辺の地域資源	魅力	魅力を伸ばしていくために
<ul style="list-style-type: none"> パルコ 伊勢丹裏の商店街、飲食店 昔らしさが残っている 	<p>駅周辺の商業施設、賑わい 昔ながらの商店街としての魅力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 浦和としてのよさ等のアピール 昔ながらの商店街等を保存する仕組み→商店街の先に目的となる施設があれば
<ul style="list-style-type: none"> 駅から散策できる範囲に緑があつてよい 	<p>公園、緑地</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 調神社（こまうさぎ）、別所沼公園など 	<p>伝統的な神社等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 記録、歴史を保存するなど、県都としての歩みを学習する機会を確保する
<ul style="list-style-type: none"> 上質な生活都市、東日本の中核都市 京浜東北線 生活しやすいまちを追求 	<p>交通の要衝 生活都市</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画を実行する 浦和駅から市内に行くのが不便（コミュニティバスなど）
<ul style="list-style-type: none"> 商業ゾーン、行政ゾーンのくくり 駅から商業ゾーンへの道中の商店が魅力 行政ゾーンから西の住宅地とのすみわけ 	<p>複数の特色あるまちなみ（商業、行政など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見を聞く機会を設ける 現場主義の徹底 良い点を生かした総合的なまちづくり（コンセプト）が弱い
<ul style="list-style-type: none"> 浦和レッズ サッカー 埼玉スタジアム、駒場 	<p>スポーツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運動する場所が駅近くにあれば ライオンズ、ラグビー、ゴルフなど県外からも呼び込める施設があるとよい
<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な学校 公立中高教育に力を入れている 図書館が多い 	<p>文教都市</p>	<ul style="list-style-type: none"> もっと特徴があった方が（力を入れた方が）わかりやすい 子供が遊べる場所、居場所

グループC

浦和駅周辺の地域資源	魅力	魅力を伸ばしていくために
<ul style="list-style-type: none"> 駅前の商店街 古くからやっている個人のお店 徒歩20分圏内（仲町通りの先、裏門通り）の個人の居酒屋 	個性的なお店	<ul style="list-style-type: none"> 地下街まででなくても西口の通りまでの再開発 雨でもショッピングができるとよい 歩ける距離で店が多いとよい
<ul style="list-style-type: none"> 昔ながらの街並み 中山道、さくら草通り 伝統的なまちなみ 	歴史 昔ながらの街並み	
<ul style="list-style-type: none"> 商業エリア、文教エリア分かれている 落ち着いている雰囲気 魅力にアクセスしやすい取組 	商業・行政のすみわけ ほどほどに都会	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が子供を見るような世代間の交流ができる仕組みを 頭の良い学校があることが文教都市ではなく、高校生がまちに貢献するなどが必要 大学・高校のサテライトキャンパス 浦和区で#つながる浦和プロジェクトを高校生と始める
<ul style="list-style-type: none"> 浦和のインターも利用しやすい 駅の利便性 店が分散していて賑わいも分散している 飲食店の物価が安い 	住みやすさ 便利 物価が安い	<ul style="list-style-type: none"> 行政ゾーンや公園を周回するバス 気軽に座って休めるところ 住民のwell beingを高めるのも必要（若い層が入ってくる仕組み） 外国の方、障害者への接遇サービスの向上 中山道沿いの古い家をリノベーションしたカフェに
<ul style="list-style-type: none"> 調神社（こまうさぎ） 別所沼公園（ジョギング、釣り） 憩いの場 別所沼公園、北浦和公園 玉蔵院の枝垂桜 	憩いの場	<ul style="list-style-type: none"> 別所沼公園に大きな遊具・楽しい遊具を、子供が遊べる場所 公園が少ない、密になってる 緑がもう少し増えるとよい 体育館・運動施設を（交流拠点） 個人の土地をうまく使う仕掛けを 駅前の渋滞を解消できる仕組みを

グループD

浦和駅周辺の地域資源	魅力	魅力を伸ばしていくために
<ul style="list-style-type: none"> 商業施設（パルコなど）、周辺のカフェ等 	商業が充実	
<ul style="list-style-type: none"> 浦和総合運動場など 北浦和公園の噴水 	公園	
<ul style="list-style-type: none"> 玉蔵院、調神社 古いまち、昔の名残が残っていて逆にいい 昔の消火栓など 	歴史	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代がもっと知っていく必要がある 民間企業だけでなく市民と市の職員が対話しながら進める
<ul style="list-style-type: none"> エッジがきいた食文化（うなぎ、アカシエ） 彩果の宝石 	食文化 うなぎ、スイーツ和菓子	
<ul style="list-style-type: none"> 交通の便（東京まで繋がりがやすい） 駅周辺が便利 	駅周辺・交通の利便性	
<ul style="list-style-type: none"> 安心安全 駅の近くに学校があり、繁華街がなく安心 病院 コミセンでの活動（ヨガ、子育て） 市民活動サポートセンター 保育園は多い ファミリーサポート制度、子育てに手厚い 	住みやすい 治安が良い 子育てしやすい 病院の数が 多い 優秀な人材、魅力的な人材 若い世代 市民活動	<ul style="list-style-type: none"> 大きな医療機関が不足している、大きな医療機関があれば、優秀な医療人材が集まる 経験をシェアする・交流する場、コミュニティの場 赤ちゃんから高齢者まで皆で見守る 一か所に人が集まるのには限界、デジタルの活用を 動画配信などで文化を守る、発信していく データ・数字を活用しての宣伝
<ul style="list-style-type: none"> サッカー 	文教都市	<ul style="list-style-type: none"> 将来を担う教育に独自性、さいたま市らしさを 教育や学校というよりかは、街全体が文化的歴史的要素があることが「文教都市」としての位置付け

グループE

浦和駅周辺の地域資源	魅力	魅力を伸ばしていくために
<ul style="list-style-type: none"> 中山道からの発展 駅周辺、東西の行き来のしやすさ コンパクト、落ち着いているが、賑わいがある 商業施設（再開発、伊勢丹、コルソ） 	浦和のブランドまちの利便性	<ul style="list-style-type: none"> 浦和ブランドイメージ（文教都市、高級感）を生かす 目的となる施設（埼玉会館やスタジアムなど）を利用した人たちを、まちに滞留させる取組 目的地と駅をつなぐアプローチの工夫
<ul style="list-style-type: none"> 美術館 	文化、芸術	<ul style="list-style-type: none"> 内容は良いが、アピール、宣伝をもっとうまくできれば
<ul style="list-style-type: none"> 埼玉会館、公民館、コミセン、図書館などが駅周辺（徒歩圏内）にあるのがよい 	行政施設、公共施設が充実	<ul style="list-style-type: none"> 集約し、空いたところを活用 保育園等の充実 個人が使える機能の充実 施設や活動のさらなる周知、わかりやすさの向上（HPなど） 企業（オフィス）の利便性
<ul style="list-style-type: none"> 安心、安全 治安がよい（夜間に人気の少ないエリアが少ない、歓楽街がない） 	安心、安全 治安がよい	
<ul style="list-style-type: none"> 文教都市と言われており、格調高いまち 駅1km圏内に小中学校が一定ある 教育に熱心、関心のある親が多い 	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> 夕方以降は市民解放してもよいのでは 既存公共施設の活用による市民サービス 頭も体も使える、はたらかせる場があれば
<ul style="list-style-type: none"> サッカーのまち 浦和レッズ サッカー教室などが人気 	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 駒場競技場での試合開催 こどもがのびのび体を動かせる場所（スケボーなど）があれば
<ul style="list-style-type: none"> 風水害がほとんどない 災害に強い地形 	災害に強い地形	

グループF

浦和駅周辺の地域資源	魅力	魅力を伸ばしていくために
<ul style="list-style-type: none"> パルコ（図書館・会議室） 	施設が充実（多用途）	<ul style="list-style-type: none"> 再開発事業などPRしてほしい パスタの町おこし
<ul style="list-style-type: none"> 路面店に魅力がある（うなぎ・ケーキ） パスタ、ワイン 	食文化	
<ul style="list-style-type: none"> 繁華街がない 小さくて魅力的なお店街歩きが楽しい 	クリーンなイメージのあるまち	
<ul style="list-style-type: none"> 調神社、玉蔵院 	歴史	<ul style="list-style-type: none"> 新しい資源・歴史を作ることが必要
<ul style="list-style-type: none"> 天王川コミュニティ緑道 別所沼公園 北浦和公園 	公園・緑地	
<ul style="list-style-type: none"> 文教地域（浦和高校、浦和一女高校） 公立小中学校のレベルが他地域よりも高い 近代美術館のキュレーターが良い 多世代へのアプローチ 子育て支援のサークル活発 青少年宇宙科学館 埼玉県立文書館 	文教地域の雰囲気（学校・美術館など）	<ul style="list-style-type: none"> 文教都市といいながら大学などの象徴的施設がないため、埼玉大学と連携した施設などが駅周辺にあるとよい 浦和地域だけでなくさいたま市の中の浦和として検討していくべき 将来の人口減少などを見据え、今から市外へのイメージづくり・PRが重要 閑静な住宅地の特徴を伸ばすとよい 大宮と差別化したほうがよい 演劇施設のキャパシティが小さいため、大きな施設があるとよい
<ul style="list-style-type: none"> 個性的な飲食店 演劇・アーティストと交流が多い 浦和まつりは華やか、にぎやかで、よい資源 	芸術 文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> ストリートカルチャーが発展する施設などがあってもよい キラークンテンツ、聖地化することで商業施設の活性化にもつながる 浦和まつりのPR 浦和駅など人が集まる場所に写真などもっとPRすべき

(第2回) 現庁舎地利活用について考える 市民ワークショップレポート

(第2回) 現庁舎地利活用について考える市民ワークショップを開催しました！

本ワークショップは市民の皆さまの視点から、本庁舎整備に伴う現庁舎地の利活用などについて話し合い、様々なご意見を伺うことを目的として開催されました。

第2回のワークショップでは第1回で話し合った「浦和駅周辺のまちの魅力」を基に「現庁舎地にあつたらよいもの・サービス」について、6グループに分かれてディスカッションを実施しました。ご参加いただいた市民の皆さまに心よりお礼申し上げます。

開催スケジュール

第1回 (8月21・22日)
(オンライン (Zoom))
○オリエンテーション
○グループディスカッション
○まとめ



第2回 (8月28・29日)
(オンライン (Zoom))
○オリエンテーション
○第1回の振り返り
○グループディスカッション
○全体のまとめ

参加者・運営体制

ファシリテーターの進行の下、市民参加者38名が6グループに分かれて、ディスカッションを行いました。ワークショップ当日は埼玉県に緊急事態宣言が発令されていたことから、オンライン (Zoom) にて実施しました。

市民 : 38名 (無作為に選ばれた市民や市民の声モニターの方の中から参加希望者を募り、参加希望者の中から抽選で決定、欠席1名)

事務局 : 11名 (ファシリテーター3名、さいたま市担当課8名)

オリエンテーション

ディスカッションに先立ち、事務局から現庁舎地の周辺を含む浦和の地域特性を生かした現庁舎地利活用の前提条件について以下の4点を提示しました。

- ① **まちの成り立ち**：文教都市を象徴する地域、県都としての誇りがある地域
- ② **さいたま市のまちづくりに係る方針**：さいたま市総合振興計画で「浦和駅周辺地区」の目指す方向性は「洗練された伝統と感性豊かな文化が息づく、風格で魅了する都心地区」等とされている。
- ③ **現在の地域特性**：閑静な住宅地が広がっている。また、現庁舎は文化芸術を楽しめる場でもある。
- ④ **都市イメージ**：住みたいまち、子育てがしやすいまち、地域資源が豊富等
また、現庁舎地にある浦和区役所や浦和消防署の機能は残す前提である旨の補足説明も行いました。

第1回の振り返り

第2回のディスカッションテーマに入る前に、ファシリテーターが中心となり、第1回のディスカッション内容をまとめた資料をグループメンバー全員で確認しながら、第1回で話し合った「浦和のまちの魅力」や「魅力を伸ばすために必要なこと」について振り返りました。必要に応じて、意見追加や補足などないか確認し、第2回のディスカッションへと移りました。

グループディスカッション

第2回のディスカッションでは「現庁舎地にあつたらよいもの・サービス」について、市民の皆さまに考えていただき、1人ずつ意見を発表しました。

参加者の意見や現庁舎地周辺の地図・写真を参考に、現庁舎地周辺のまちなみを踏まえた施設・サービスなどについて話し合いました。

最後に、話し合いをもとにグループで一押し
の現庁舎地利活用案をまとめました。話し
合ったアイデアは一つに限定せず、複合的な
施設、サービスを含め、幅広くアイデアを取り
まとめました。(詳細は次頁以降参照)

現庁舎地にあつたら
よいもの・サービス



グループ一押し
の現庁舎地利活用案

ディスカッションで挙げた意見（例）

現庁舎地にあつたらよいもの・サービス

医療機関

- ・ 総合病院の誘致（消防署との連携・ヘリポートなど）
- ・ 大学病院の設置（さいたま市に戻ってくる医師の養成）

研究・教育機関

- ・ 大学の誘致（地元の大学のサテライトキャンパス、芸術系の学部など）

文教施設

- ・ 図書館（雲の上の図書館など若者をひきつけるような建物など）
- ・ プラネタリウム・歴史行政資料館など、学び体験の場
- ・ 運動施設（スケートボード・ボルダリング・バスケットボール・ジムなど）

公園

- ・ 既存の木々を活用した公園・緑地
- ・ カフェなどを併設

市民交流施設

- ・ 市民が集まり、活動できる場所（多世代・多国籍の交流）
- ・ 集客・イベントスペース
- ・ フリーマーケット（地元の特産品など）

商業施設

- ・ ショッピングセンター
- ・ 職業体験施設

企業オフィス

- ・ 大企業本社の誘致
- ・ シェアオフィス

防災拠点

全体まとめ

最後に第2回の市民ワークショップのまとめとして、総括しました。
全2回のワークショップは新型コロナウイルス感染症の流行により、オンラインでの開催ではありましたが、多くの市民の皆さまにご参加いただき、多種多様な意見・アイデアを頂きました。本ワークショップで市民の皆さまから頂いた意見・アイデアを参考にしながら、現庁舎地の利活用について検討していきたいと思っております。

グループー押しの現庁舎地利活用案

グループA

相互の機能を関連付けた複合化

- ・ 市民交流拠点（展示スペースなど）
- ・ 多世代交流拠点
- ・ 大学院、教育機関（学びあいの機関、寺子屋）、インキュベーション機関
- ・ 飲食店・ショップ（食文化、地場的な）
- ・ 災害対応拠点（他の機能との複合化）
- ・ 公園・緑地、オープンスペース、特色生かした庭園、写真スポットなど

グループB

- ・ 多世代交流施設
- ・ 体験型施設
- ・ 文教拠点
劇場、美術館、公会堂
教育、人材育成
- ・ 歴史行政資料館
- ・ 防災教育施設
- ・ 憩える空間、集まれる空間の確保も
- ・ 県外、市外からも人を集める視点
- ・ 自分たちも誇れるものを



グループ押しの中舎地利活用案

グループC

- 市民交流施設
- 大学
- 企業誘致
- 緑のスペースは必須
- お金が回る仕組み
- 農家の協力を得て実のなる植樹
- 巡回バス（渋滞対策）
- 駅周辺の渋滞緩和としての駐車場
- バスに限らない交通手段
- 住民の参加意欲を高める取組
- 市民もお金を回す仕組み
- 世代ごとの会議、外国籍の方、障害者の方の会議
- 住宅が密集しているため、火災への対策が必要

グループE

- 公園（住民参画の仕組み、カフェなど、既存の植樹の維持、など）
- 大学（サテライトキャンパス含む、文化芸術系、など）
- 海外友好都市との連携
- SDGs未来都市計画など各種計画に基づく検討
- 研究施設、デジタル関係の産業
- 点でなく線でのトータルデザインの検討が必要（市民会館うらわの跡地活用、近隣の公園との関係性、交通アクセス、県庁建て替えなど）
- 周辺施設、環境への配慮（保健センターなど）
- 水源、水路の活用



グループD

- 多世代・多様な人材が「学び」、「交流」できる機能（子どもから高齢者まで広く利用できる、文化・歴史を学べる）
- 市民交流できる多目的広場（イベント・防災・健康づくり等）
- 防災関連の充実（医療サービスの充実）

上記案とした理由（魅力や地域資源）

- ✓ 文教都市（文化・歴史）
- ✓ 人材の多様性、子育てのしやすさ
- ✓ 安心・安全



グループF

- 医療サービスの充実（総合病院機能）
- 学びの場（図書館、地球環境に関する全世界天候気候体験型施設、大学医学部、大学、サテライトキャンパス）
- 集客施設・イベント機能（食文化を通じた交流、子供たちが社会科見学でも来れる、大人も学べる博物館型テーマパーク浦和の資源を活かした学びと集客の共存施設）、車輪スポーツの交流の場、イベント）
- 研究開発施設